

**医療機関、研究機関その他の放射性同位元素等取扱施設等における  
消防活動上の留意事項に関する検討会（第3回） 議事概要**

- 1 日時 平成28年3月10日(木)14:00～16:00
- 2 場所 中央合同庁舎7号館 西館9階904会議室

3 出席者（敬称略・順不同）

鹿志村 平 立石 信行 鶴田 俊 富永 隆子  
中村 篤志 中村 力 中丸 浩昭 平本 隆司  
松井 真 武藤 重男 山口 芳裕 吉井 功知

4 主な検討内容

○個票に掲載されている【物理的・化学的性質】は、それぞれの化学名（化学形）に由来する性質のうち消防活動に関係があるものの一部を抜粋したものであり、それが全てだと誤解されては困る。核種の性質だけでなく、事前対策等により、事業所での使用状況等を把握しなければならないことを明記すべき。

○個票中「データなし」と「なし」の記載の違いについて、明確にすべき。

○個票を現場で閲覧することを考慮すると、【物理的・化学的性質】欄と【放射性物質の性質等】欄の位置を入れ替えた方がよい。

○個票（RI-1,RI-2）の【使用する測定機器】欄には機種名が記載されているが、これではトリチウム（水素3）のβ線は測定できない。事業者からの借用も考慮するよう記載すべき。

○放射性医薬品については、病院等でも日常的に使用されており、必要以上に危険であると誤解されないようにしてほしい。